

AF-25T 格子グリルタイプ 日本電興株式会社

AF-25T(S) フラットパネルタイプ

速結端子付・弱運転(H/L)切替スイッチ付

ダクト用換気扇 強弱型 (1 室用)

【24 時間換気システム対応】

屋内用 浴室・トイレ・洗面所

取扱取付説明書 (保証書付)

お買い上げいただきありがとうございます。
なお、この取扱取付説明書は、大切に保管してください。

ご使用になる前に

- この取扱取付説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。
- お客様ご自身で取り付けないでください。必ず専門の工事店へ依頼してください。

※ここに示した注意事項は、表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の大きさと切迫の程度を、次の表示で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	警告	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	Ⓐ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な内容(左図の場合は一般指示)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

《安全上の注意》

換気扇を正しく安全に取り付け、ご使用頂くために、つぎのことを必ずお守りください。

警告

	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわないでください。発火したり、異常動作してケガの原因となります。 交流 100V 以外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。 直接炎があたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取り付けしないでください。火災の原因となります。 傷んだ電源線は使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。 ガス漏れのとときは換気扇のスイッチを入・切しないでください。スイッチの火花により爆発・引火の原因となります。 内釜風呂を据付けた浴室には取り付けしないでください。一酸化炭素中毒の原因となります。 浴室内に壁スイッチを設置しないでください。感電・ショートの原因となります。 濡れた手で電源スイッチの操作をしないでください。感電・ケガの原因となります。 本体各部に直接水やお湯、かび取り剤をかけないでください。感電・ショート及び変色・ヒビ割れの原因となります。 掃除の際モーター・コンデンサー・スイッチ・コネクター(遠結端子)等の電気部品を水に浸したり、水をかけたりしないでください。感電・故障の原因となります。
	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実におこなってください。接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因となります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。 漏電した場合、発火の原因となります。 ご使用中に異常(回転が止まる・音が大きくなる・回転ムラ・異常な匂い・振動)等が発生したら直ちに使用をやめてください。感電・火災の原因となります。 安全のため、必ずアースを取り付けてください。感電の原因となります。 お手入れの際は必ず電源スイッチを切り、さらに電源(ブレーカー・スイッチ)を切つてからおこなってください。感電・ケガの原因となります。

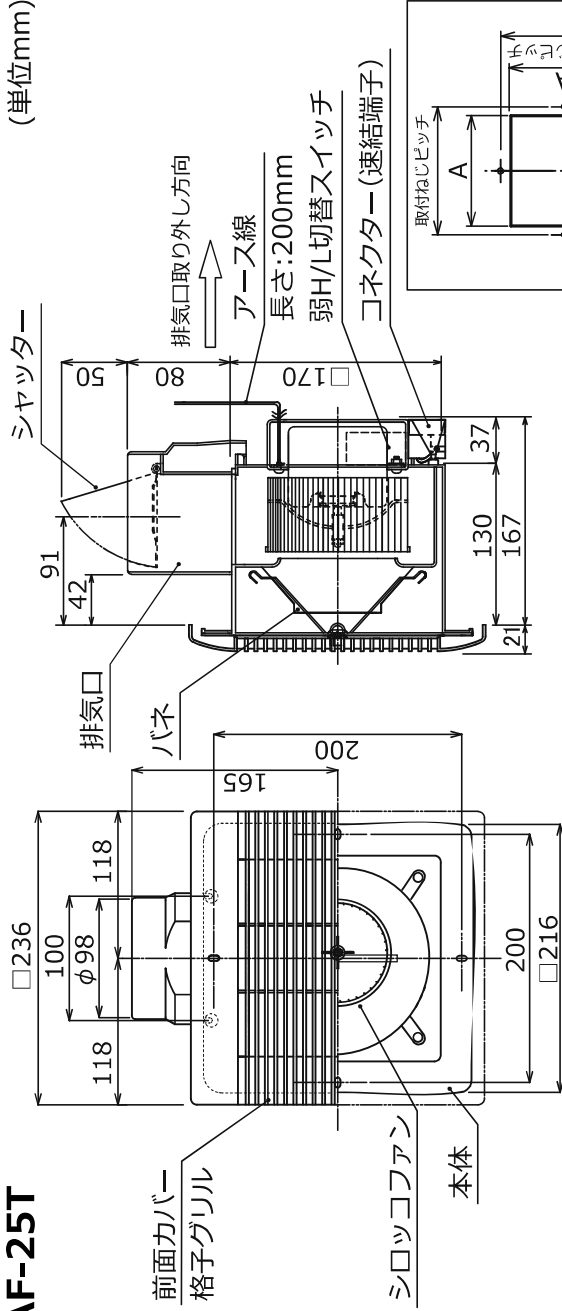
警告

	本体は断熱材等で覆わないでください。故障・漏電の原因となります。 ファンを取り外さないでください。異音・故障の原因となります。 運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れしないでください。ケガの原因となります。 本製品は屋内取付用です。高温(周囲温度が 40℃以上)になる場所や、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり感電の原因となります。 塩害・温泉害の発生している場所では使用しないでください。故障の原因となります。
	電気工事は、必ず電気工事に依頼してください。感電の原因となります。 本体の取付工事は充分強度のあるところを選んで確実におこなってください。 落下によりケガの原因となります。 前面カバーは確実に取り付けてください。落下によりケガの原因となります。 お手入れの際は必ず厚手の手袋を着用してください。部品の端等でケガの原因となります。 長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

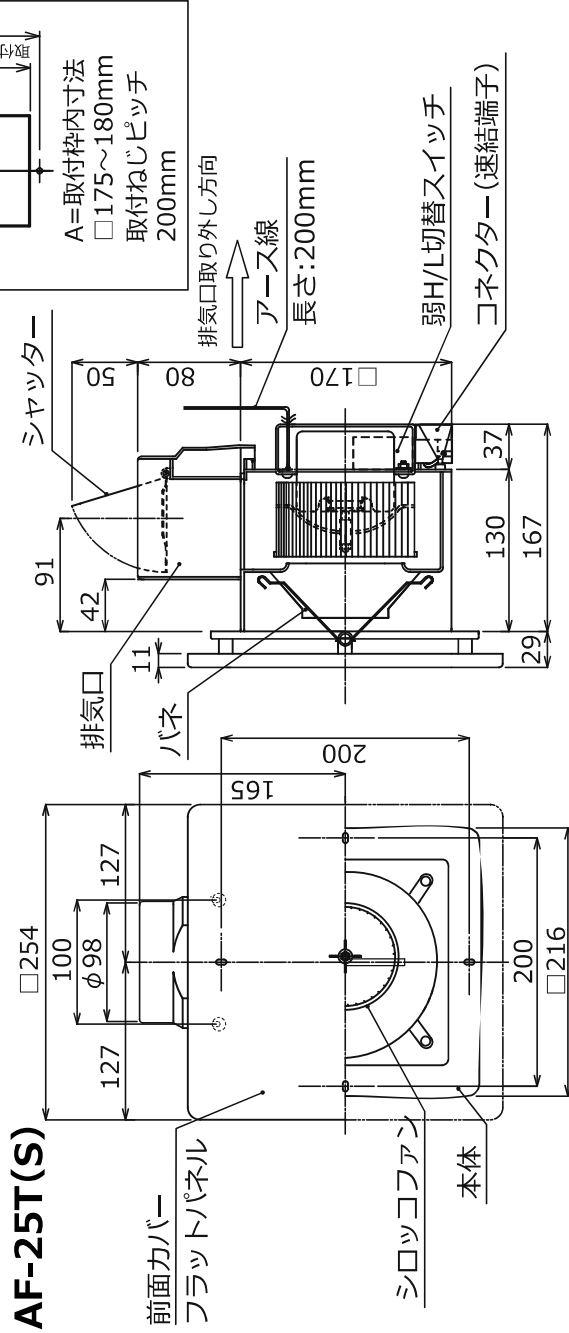
各部の名称と寸法

AF-25T

(単位mm)



AF-25T(S)



付属品：タッピングねじ $\phi 4.0 \times 30 = 6$ 本

仕 様

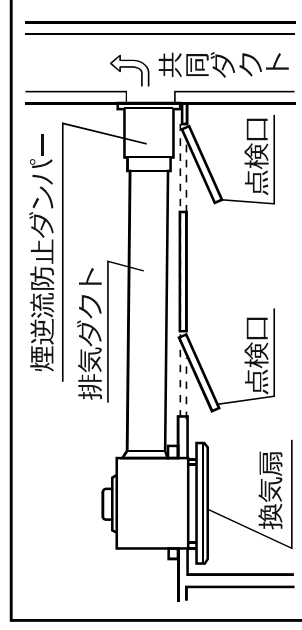
性能表

風量はダクト未装着 (0Pa) 時の開放風量です。

品 番	電圧 (V)	周波数 (Hz)	ノッチ	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)	騒音 (dB)	重量 (kg)	適合パイプ (パイプ呼び径) $\phi 100$
AF-25T	100	50/60	強	11/12	90	36	1.6	
AF-25T(S)			弱(H)	7/8	65	33		
			弱(L)	6	45	28		

換気扇の取り付けには、下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

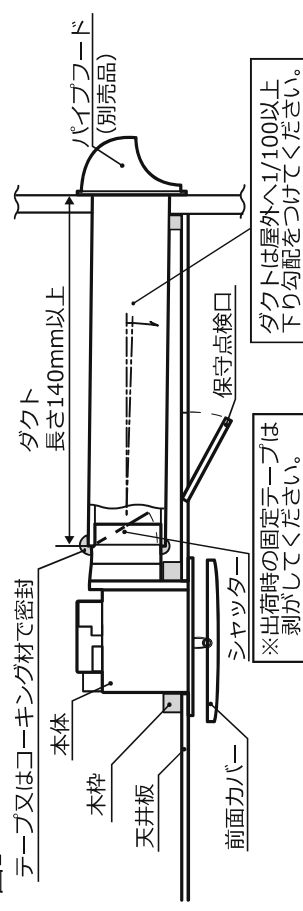
- プラスチックボディ及びジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合があります。
- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により 2m の鋼板立上がりダクトを取り付け、別売部品の煙逆流防止ダンパーを取り付けて点検口を必ず設けてください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造物に金属ダクトが貫通する場合、電気的に接触しないように取り付けてください。(電気技術基準による)



取り付け時の注意

- 電源は必ず正しく配線された交流 100 ボルトを使用してください。
- 取付工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。
- 製品重量に耐えるよう取付方法に従って取り付けてください。取り付けが不十分ですと危険です。また振動・異常音の原因となります。
- 天井材は共鳴しにくい石こうボード・吸音板・繊維板等をご使用ください。
- 換気扇を取り付けた天井には、必ずダクト接続部が点検できる保守点検口を設けてください。
- 換気扇の対面に新鮮な空気を取り入れる給気口を設けてください。
- 排気ダクトは、塩化ビニール管・アルミフレキシダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下り勾配をつけてください。

図1



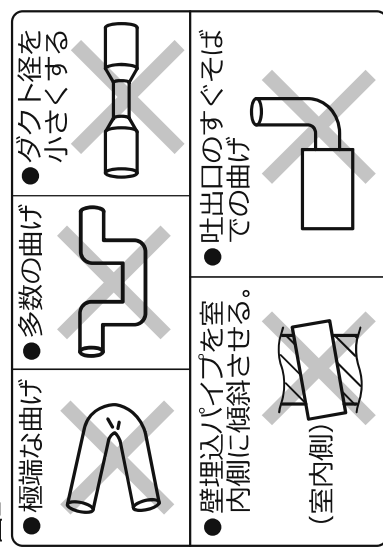
- 排気ダクトの先端には、鳥等の侵入を防ぐためのベントキャップ(別売部品)または、雨水等の浸入を防ぐためのウェザーカバー(別売部品)等を取り付けてください。

■次のような取り付けをしないでください。

- 換気扇付近の温度が高温(周囲温度が 40℃以上)になる場所や、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり感電する原因となります。
- 台所等、油煙の多い場所に取り付けしないでください。
- 本体・前面カバーの破損の原因となります。
- 本体を断熱材等で覆わないでください。故障・漏電の原因となります。
- 本体を木枠の上に固定しないでください。
- 右図 2 のようなダクト工事はしないでください。風量低下・異常音の原因となります。
- 排気ダクトの先端には、防虫網付のベントキャップやウェザーカバーを使用しないでください。

※ほこりで目詰まりして、換気不足の原因となります。

図2



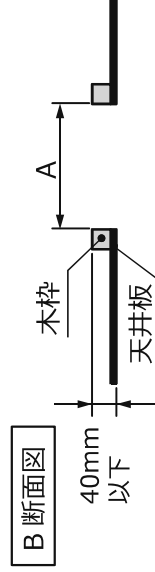
取付方法

1. 木枠の準備

- 取付枠内寸法にあわせて木枠をつくり、野縁に固定してください。(右取付枠寸法図参照)

取付枠内寸法: □175 ~ 180mm

※木枠と天井板の寸法の合計は 40mm 以下になるようにしてください。(B 断面図参照)



木枠 + 天井板の合計は 40mm 以下にしてください。

2. 排気口の取り付け

- 本体から排気口を取り外してください。
- ※梱包時の排気口シャッターの固定テープは、剥がしてください。
- 排気口の壁を天井板と木枠に密着させてください。(図 2-1)
- 排気口が木枠の中心にくるように取り付けてください。(図 2-2)

図 2-1

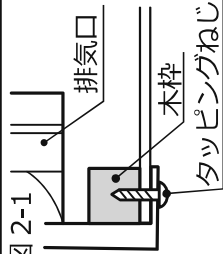
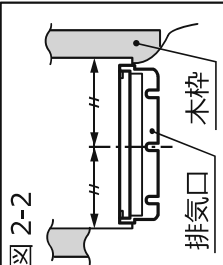


図 2-2



- 排気口を付属のタッピングねじ(2本)で固定してください。(図 2-3)

3. 本体の取り付け

- 2の手順で取り付けた排気口に本体を挿入してください。(図 3-1)
※必ず室内側から本体を挿入してください。
- 本体が排気口に密着していることを確かめてから、付属のタッピングねじ(4本)で本体をしっかり固定してください。

4. 配線・アース線を接続

- 配線及びアース線は本体の取り外しができるように70cm以上たまるませてください。
- ①配線(VVFケーブル $\phi 1.6, \phi 2$)を皮むきして、コネクタに芯線が止まるまで確実に奥まで強く差し込んでください。(結線図参照)
- 結線が完了したらカバーを閉めてください。
- ②弱運転は、本体の弱 H/L 切替スイッチで弱 Hか弱 Lを選択してください。

風量 (0Pa 時) 弱 H = 65m³/h 弱 L = 45m³/h

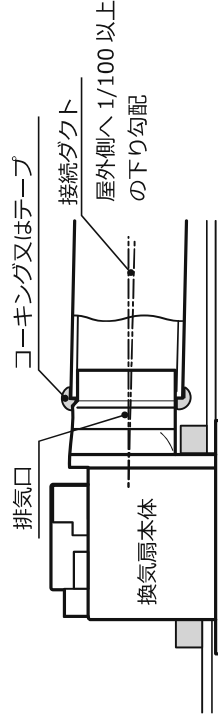
- ※工場出荷時設定：「弱 H」
- ※24 時間換気システム用としてご使用される場合は、**建築基準法に基づいて計算された風量設定でご使用ください。**
- ③アース線を接続してください。
- ④スイッチ (別売品) は、必ず活線側に取り付けてください。
- ※24 時間換気システム用としてご使用される場合は、**24 時間換気システムに対応したスイッチ(注意書、ふた付き等)で、片切りスイッチと3路スイッチがセットになったものをご使用ください。**

ご注意

- 誤配線した場合は正常に作動しません。故障の原因となります。
- 皮むきした芯線が露出しないようご注意ください。
感電・ショート・発火の原因となります。

5. 排気口とダクトの接続

- ダクトを排気口にしっかり差し込んで風もれのないように、テープ又はコーキング材で密封します。
- ※デクスねじ等で止めないでください。シャッターが開かなくなることがあります。
- ダクトは屋外側に向けて1/100以上の下り勾配をつけて取り付けてください。



6. 前面カバーの取り付け

- 本体のバネを引き出してください。
- バネに前面カバー裏のフックを引っかけてください。
- 前面カバーを軽く押し、バネを戻してください。

試運転を行う

以上で、換気扇の取り付けが完了しました。次の取り付けと運転について確認してください。

- 製品の取付強度が十分であること。
- 運転・停止をして異常な振動・異常音がないこと。
- 運転(強・弱)・停止するかを確認してください。

図 2-3

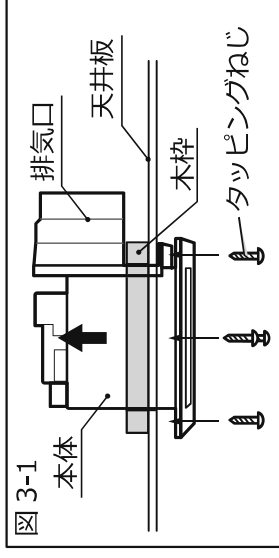
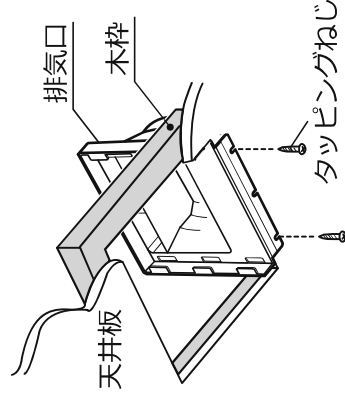
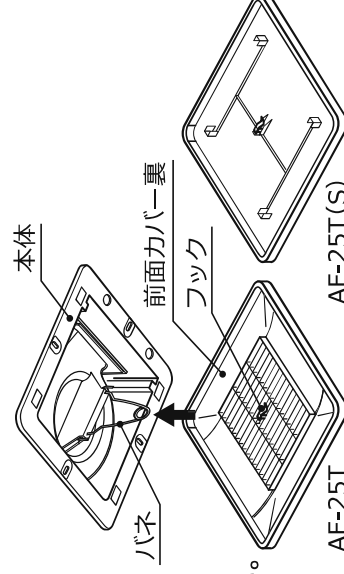
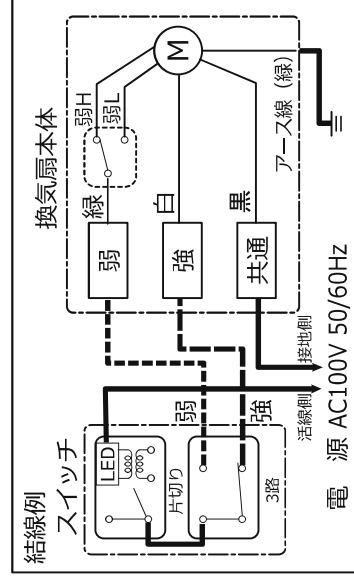
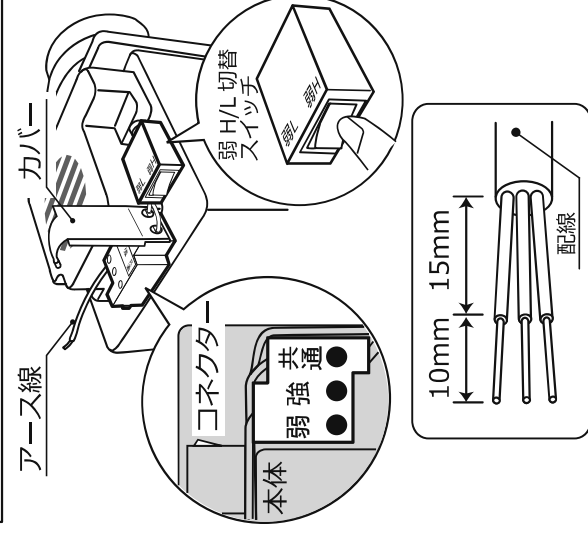


図 3-1



使いかた

- 壁に取り付けたスイッチ(別売品)で電源「入」「切」、風量「強」「弱」を切り替えてください。
※24時間換気システム用としてご使用のときは、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ等)を除き電源を入れ運転してください。

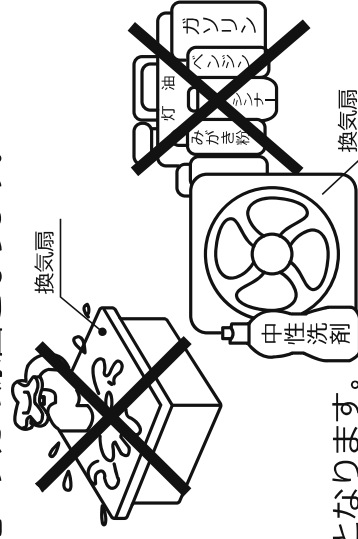
ご注意

- この換気扇は外気逆流や冷気侵入を抑えるため、風圧式のシャッターを設けています。風圧式のシャッターは急激なドアの開閉や外風の強い場合にシャッター音が聞こえることがあります。が故障ではありません。
- 浴室等湿気の多い所では結露水が滴下することがありますが、換気扇の故障ではありません。色のついた入浴剤を使用した場合、換気扇に色が付着したり、色の付いた水滴が落ちることがあります。が故障ではありません。

お手入れのしかた

- **ご注意** **！** **お手入れの際は必ず電源スイッチを切り、さらに電源(ブレーカー・スイッチ)を切ってからおこなってください。感電・ケガの原因となります。**

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋を着用してください。
- モーター等の電気部品は、水をかけないでください。
- 絶縁不良となり、漏電等の原因となります。
- またスプレー式クリーナー等での掃除はおやめください。

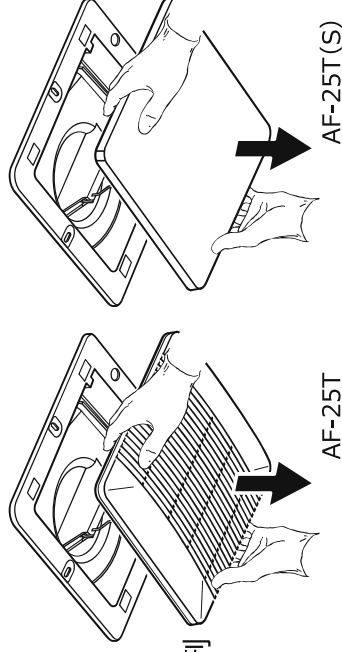


- アルコール・シンナー・ベンジン等を使用しないでください。変色・傷・ひび割れの原因となります。
- 化学ぞうきんでこすりたり、長時間接触させたまにしないでください。傷や変色の原因となります。
- アルカリ性洗剤は使用しないでください。変色の原因となります。(洗剤をご使用になる前に、必ず洗剤の説明書をよくお確かめください。)
- 冬期やシャワー回数が多い場合、結露水が前面カバーに溜まることがありますので、適宜排水してください。

- 前面カバーやファン等にホコリや汚れが付着したままご使用されますと、風量低下・異音の原因となります。目安として約1ヶ月に1度の掃除・点検をお願いします。

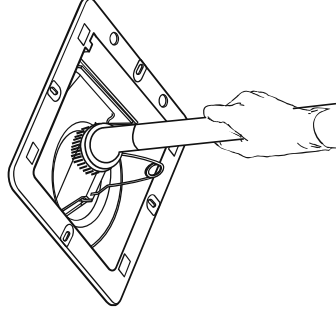
前面カバーの掃除

- 前面カバーを両手で持って下げ、前面カバー裏の中心部のフックをバネから外します。
- 中性洗剤溶液に浸した布をしばって、汚れをふきとります。その後、水でしばった布で洗剤が残らないように十分ふきとってください。



本体・ファンの掃除

- ほこりを掃除機で取り除いてください。
- 本体・ファンは取り付けたまま中性洗剤溶液に浸した布をしばって、汚れをふきとります。その後、水でしばった布で洗剤が残らないように十分ふきとってください。
- ファンに衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。



お手入れが終わりましたら

- 前面カバーを取り付けます。(5ページ「取付方法」の手順6.を参照)
- つぎのことを確認してください。
- ① 前面カバーが確実に取り付けられていること。不完全ですと落下することがあります。
- ② 試運転を行います。運転・停止をして異常な振動・異常音がないこと。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に表示しています。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度等の標準的な使用条件に基づき経年劣化に対して製造した年から安全上支障なく使用することが出来る標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものではありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件

日本工業規格 JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz及び/又は60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取扱取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気扇）	取扱取付説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間 *a)	
		居室	2,193時間/年
		トイレ	2,614時間/年
		浴室	1,671時間/年

注記 表の温度20℃・湿度65%は、JIS C9603の試験状態を参考としている。

*a)常時換気(24時間連続換気)のものは、8,760時間/年とする。

異常が生じた時

ご注意

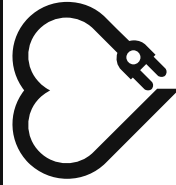
ご家庭での修理は危険ですのでおやめください。

●本機が作動しない場合、次の表の点検事項を確認していただき、それでもなお異常のある場合は、事故防止のため使用を中止し電源(ブレーカー)を切り、お買い求めの販売店または専門施工店にご相談ください。

異常内容	点 検 事 項
運転しない	●ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●ファンに何か当たっていませんか。

長期ご使用の換気扇の点検を

愛情点検



ご使用の際このような症状はありませんか？

- ・電源(ブレーカー)を入れても時々羽根が回転しないことがある。
- ・回転が遅い。または回転が不規則である。(排気が弱い)
- ・運転中に異常な音や振動がする。
- ・焦げ臭い“におい”がする。
- ・その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源(ブレーカー)を切り、必ず販売店または専門施工店に点検・修理を依頼してください。

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。お買上げの際に、販売店または専門施工店よりかならず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容により修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理については販売店または専門施工店にご相談ください。
- ④日本電興株式会社は依頼店からの注文により補修用性能部品を供給します。換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
- ⑤補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑥アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または専門施工店が本書に記載の日本電興株式会社へお問い合わせください。

ダクト用換気扇 保証書

型名	AF-25T、AF-25T(S)	製造年月	本体に記載
保証期間	お買上げ年月日： 年 月 日より1年間（本体）		
お客様	ご芳名	様 TEL	
	ご住所 〒		
販売店	店 名	TEL	
	住 所	印	

- この保証書は、本書に記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示のうえ修理をご依頼ください。
- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買上げの販売店へお申し出ください。
 - お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- < 無償修理規定 >
1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合、無償修理いたします。
 2. ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、販売店が本書に記載の日本電興株式会社へご相談ください。
 3. 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (ト) 取扱説明書で禁止されている設置をされた場合。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

※この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対してお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

日本電興株式会社 〒486-0912 愛知県春日井市高山町2丁目31-5
TEL 0568-34-6688 FAX 0568-34-6611